社会資本総合整備計画　　社会資本整備総合交付金

平成30年01月31日

計画の名称	緑豊かな都市公園づくりの推進		
計画の期間	平成３０年度　～　平成３２年度　(3年間)	重点配分対象の該当	
交付対象	朝霞市		
計画の目標	朝霞市は、緑の基本計画及び景観計画の策定、また特別緑地保全地区を指定し、緑化の推進及び緑地の保全・創出に取り組んでいる。緑化率８０%以上の都市公園を整備することで、地球温暖化の防止、ヒートアイランド現象の緩和、生物多様性の保全による良好な都市環境を提供し、緑とオープンスペースの確保を推進するために、緑豊かな公園緑地の整備を目指す。		

全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	228	A	228	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	H31末	H32末
1	シンボルロード緑地における利用者数を0人（H30当初）から500人(H32末)に増加			
	シンボルロード緑地に整備する中央広場、北口広場、市役所前広場の利用者数 シンボルロード緑地に整備する中央広場、北口広場、市役所前広場の利用者数を測定する。	0人／日	300人／日	500人／日
2	水久保公園の緑地面積の減少を防ぐため、借地を買取り公有地化することで、公園の総面積に対する公有地化された緑地面積の緑化率を71%（H30当初）から84%（H32末）とする。			
	水久保公園の公有地化された緑化率 水久保公園の公有地化された緑化率（%）＝（緑化面積（公有地6,021.0㎡+買取り借地1,145.2㎡＋残借地148.7㎡）／（総面積8,484.6㎡）	71%	71%	84%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－
２．水久保公園の公有地化面積　・当初現況値：6,021.0㎡　・中間目標値：6,021.0㎡　・最終目標値：7,166.2㎡								

案件番号：　0000007466

A 基幹事業

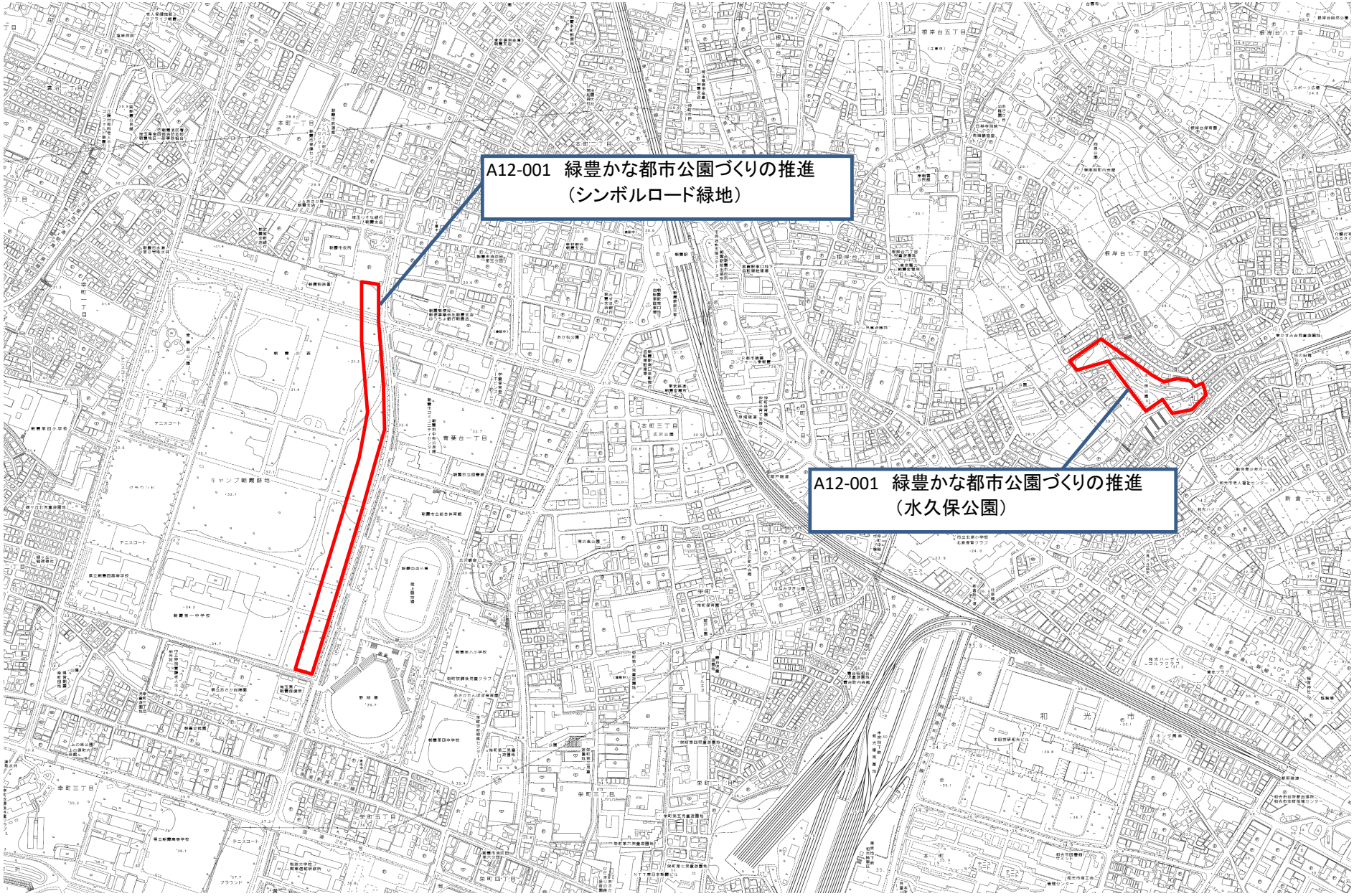
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H30	H31	H32	H33	H34	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	朝霞市	直接	朝霞市	－	－	朝霞市緑地環境事業	吸収源対策（シンボルロード緑地の園路・広場の整備2.1ha(H30,H31),水久保公園の用地取得0.1ha(H32)）	朝霞市	■	■	■			228	1.7	－
		吸収源対策（228百万円）																	
											小計						228		
											合計						228		

交付金の執行状況

（単位:百万円）

	H30	R1	R2		
配分額 (a)	42				
計画別流用 増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	42				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	23				
翌年度繰越額 (f)	19				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%				
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由	―				

※　平成３０年度以降の各年度の決算額を記載。

（参考様式３）

計画の名称	緑豊かな都市公園づくりの推進		
計画の期間	平成30年度　～　令和2年度　（3年間）	交付対象	朝霞市